

2006 年 4 月 20 日

大阪経済記者クラブ会員 各位

大阪への企業誘致検討会の検討結果

「大阪への企業誘致の仕組みづくり」について

【お問い合わせ先】

大阪商工会議所国際部（石川眞司、上月）

TEL：06 - 6944 - 6400

海外諸国から“大阪”をみると、大阪府、大阪市をはじめとして、大阪への企業誘致組織は多岐にわたっており、「マーケティング」、「プロモーション」、「進出支援」などの各機能で改善点や連携の強化などの課題があります。企業誘致は、地域経済の活性化にとって今や重要な戦略となっており、地域が一体となった「オール大阪」による仕組みづくりが重要です。

こうした中、大阪商工会議所では2005年7月に、大商、大阪府、大阪市、近畿経済産業局、日本貿易振興機構、関西経済連合会の企業誘致関係者をメンバーとする「大阪への企業誘致検討会」（座長＝前田昇・大阪市立大学大学院教授）を設置し、「大阪への企業誘致の仕組みづくり」について検討して参りました。今般、同検討会での検討結果を報告書にとりまとめましたので、ここにお知らせ致します。

記

1．オール大阪の企業誘致戦略

「企業誘致のためのオール大阪による仕組みづくり」を推進に向けて、以下の2点を軸に実践を行う。【図1参照】

(1)大阪への企業誘致マーケティングとしての産業クラスターの戦略的活用

大阪への企業誘致マーケティングを産業戦略との関係の中でとらえ、人と技術を中心としたナレッジの集積が企業集積を呼ぶ産業クラスター形成の推進活動と連携して、大阪への進出魅力を高める。

(2)ターゲットと誘致場所に応じた、オール大阪のワンストップサービス機能の強化

国内企業、外資系企業それぞれに、進出する企業の戦略にあわせた対応を行う。特に、外資系企業については、企業が進出を検討するにあたって、大阪が有力候補地となるよう取り組みを行う。

また、企業誘致は、国内外を含め、都市間競争が激しく、個々の自治体や団体が個別に対応するのではなく、経済団体や民間も含め、各々が得意分野を生かして相乗効果のでる取り組みを行う。

2．具体的展開（1）大阪の企業誘致組織の強化

2.1 企業誘致組織間の連携シナリオ（案）

大阪の企業誘致組織の強化を段階的に行い、その進捗をチェックしつつ、着実に連携の枠組みを構築していく。【図2参照】

1st Step

各々の組織の役割を意識して、連携して何を行うか明確化するとともに、環境整備を行うことが重要であり、まず、重点とする産業クラスター「バイオ・ライフサイエンス」、「ロボット・情報家電」を中心に、外資系企業誘致の強化を図る。

2nd Step

国内を含めた産業クラスター形成に向けた大阪の企業誘致組織間の相互連携を「バイオ・ライフサイエンス」「ロボット・情報家電」をテーマに強化する。また、そのような取り組みの中で、人材の交流、拠点の物理的集結等にも取り組んでいく。

3rd Step

誘致の一体的連携を行うために、トップダウン、ボトムアップの双方で取り組める枠組み構築を目指す。

2.2 1st Stepとしての具体的取り組み例

1st Step として、外資系企業誘致の強化を中心に、民間も含め、それぞれが連携しやすいところから、企業誘致の各機能の強化を図る。【図3参照】

マーケティング機能の強化(戦略共有、情報収集)

企業誘致に関する情報、大阪としての重点テーマ、重点ターゲット、重点集積エリア等を大阪の企業誘致組織間で戦略的に共有する場を設置し、具体的に取り組んでいく。

プロモーション機能の強化(情報発信・PR)

ビジネス魅力プロモーションを行うため、ビジネス・マッチング機会等の企業と実際に接する機会でのプロモーション活動等を推進する体制を強化していく。まず、プロモーション活動資料となる共通のパンフレットを作成する。

進出支援機能の強化(進出前後の支援)

進出支援機能については、専門的マッチングアドバイス等のO-BICの機能強化を図るとともに、定着後の支援とアフターフォロー等も含め、府・市・大商を中心に、連携しやすいところから随時実施していく。

共通の活動基盤の強化、オール大阪、関西の連携強化

大阪・関西での企業誘致組織間の連携について、リアルの場合での情報交換を通じてそれぞれの役割、強みを活かした分担により、具体的な実践を行っていくとともに、Webの機能強化等のサイバー上での連携についても強化していく。

3. 具体的展開(2) 産業クラスターと企業誘致

オール大阪として、誘致すべき対象について明確にするために、産業クラスター戦略の中で企業誘致を位置づける。まず、ポテンシャルがあり、産業クラスター形成が地域の産業振興戦略の柱の一つである、「バイオ・ライフサイエンス」と「ロボット・情報家電」の2つの分野について取り組む。それらの産業クラスターをはじめとして、大阪の持つ多様な産業集積を活かした、大阪型クラスターの形成を図っていく。【図4、5参照】

4. 今後のフォローアップ

オール大阪での連携を着実に図っていくため、現在の検討会をさらにステップアップし、18年度より、外資誘致に向けての連携事業を行うための連絡会を組織する予定である。また、連絡会では、各関係者間の情報共有の場となるとともに、このとりまとめのフォローアップ、具体的な作業の調整を行っていく。

以上